

# 図解

## 「令和の日本型教育」の構築を目指して

全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現

### これまでの「日本型教育」

#### 学習指導だけじゃない! 諸外国から高い評価

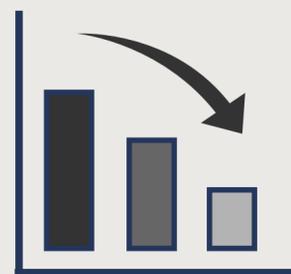
成果

- 日本の学校の果たしてきた役割
- ① 学習機会と学力の保障
- ② 全人的な発達・成長の保障
- ③ 身体的・精神的な健康の保障

課題

- 学校の負担が増大
- 子供の多様化
- 学習意欲の低下
- 教師の労働環境悪化
- ICT 活用が低調
- 人口減少
- 新型コロナ

一方で...



予測困難な時代

# 「令和の日本型教育」の

急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力

# 目指すところ

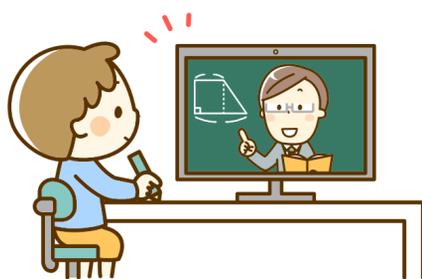
一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要。

### 「令和の日本型教育」実現のための2本の柱

少人数指導

ICTの活用

Personalized Learning  
**01**  
個別最適な学び



探究的な学習

Collaborative Learning  
**02**  
協働的な学び



### 実現に向けた今後の方向性

これまでの「成果」を継承しつつ、人的物的資源の十分な供給、地域との連携、ICTの活用

- ① これまで日本型学校教育が果たしてきた成果を継承する
- ② 教職員、専門スタッフ等の人的資源の拡充、ICT環境等の物的資源を国が供給・支援する
- ③ 学校だけでなく地域住民との連携・協働、学校と地域が一体となって子どもたちの成長を支える
- ④ 一斉授業か個別学習か、デジタルかアナログかといった「二項対立」ではなくどちらの良さも組み合わせる
- ⑤ 教育政策のPDCAサイクルの着実な推進